

# NPO建築ネット 研修・講演会

## 住まいの格差は、なぜ、ひろがったのか

いま、若者たちが解雇され、職と住を同時に失う事態に。

新たに公営住宅を建てない政府・自治体。「儲けのために」欠陥住宅・欠陥マンションが後をたたず、不安と悩みを抱えている人、「住まいが生活の基本」であるべきなのに、多くの「住宅不安」をつくり出し深刻な社会問題になっています。

マンションに住んでいる人も、公営住宅に住んでいる人も、「これからどうなっていくのか」と将来展望を持っていません。

また、「いまの若者・自分の子どもの住宅確保はどうなるのか」・・・。国・自治体の住宅政策の視点、生活者の視点で、ぜひ、一緒に考えていきたいと思います。

### 講師 平山洋介(神戸大学大学院教授)

### 「住宅政策のどこが問題か」(光文社)著者



#### 平山洋介先生 プロフィール

1958年生まれ。'88年、神戸大学大学院自然科学研究科博士課程終了、2003年より現職。生活空間計画を専攻。東京市政調査会藤田賞、日本都市計画学会計画設計賞ほか受賞。著書に『コミュニティ・ベースト・ハウジング』(ドメス出版)、『不完全都市-神戸・ニューヨーク・ベルリン』(学芸出版)、『東京の果てに』(NTT出版)共編著に「若者たちに『住まい』を!格差社会の住宅問題」(日本住宅会議編・岩波ブックレット)など多数



●テーマ 「住宅政策の過去・現在・未来」を考える

●とき 11月14日(土) 午後1時30分開場、2時開会

●ところ 全水道会館 (JR総武線水道橋駅東口下車、徒歩2分)

●講師 平山洋介氏 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授)

●参加費 2000円 (学生・25歳未満の人は500円)

●主催 NPO法人建築ネットワークセンター (電話 03-5386-0608)